

## ● 錦織健さん インタビュー

— 今回のやまと公演のプログラムはどのような構成でしょうか？

錦織) 荘村さんのソロと2人のデュオとで構成していて、バロックなどの古典あり、日本の歌あり、オペラやラテン系ありといった内容です。  
トークは私がメインにやらせて頂こうと思っています。

— 曲目を決める際は、お二人で相談されますか？

錦織) 私が歌のラインナップを提出して、荘村さんに OK を頂いて決まりです。  
声楽家の歌う曲の中にはギターには向かない曲もあるので、プッチーニなどそういったものは最初から提案しません。  
荘村さんのギターソロはご自身でセレクトされていますが、私がドシロウト代表として「アルハンブラ聴きたいですー」とかお願いしたりもします。

— それぞれの曲についての思い出をお聞かせください。

錦織) 18世紀の曲はピアノの無い時代のもだから、よりオリジナルに近いサウンドになるのではないかと思います。  
僕は小さい音と合わせるのが得意なので、ギターの繊細な音に寄り添い吟遊詩人のような雰囲気です。  
日本の歌も驚くほどギターと合うんですよ。  
日本の歌のメロディはとてもシンプルなのでアレンジの幅が少ないうえにギターがそのシンプルさに拍車をかけることとなり、とてもいい味が出ます。  
私達日本人は古賀政男さんのサウンドに親しんでいるから尚更そう感じるのかもしれませんが。

— チラシには3曲公開されていますが「花は咲く」は錦織さんの提案ですか？

錦織) 「花は咲く」はリサイタルでよく歌う曲です。  
僕は通常のキーより高いのですが、それがギターに都合が良い E-dur なのが幸いでした。

— 後半はオペラも歌われるとか。

錦織) 曲数は少ないですがギターで歌われるアリアも存在するんですよ。  
オーケストラにギターが参加するものもあります。  
僕も時々弾き語りしたりもするんですが、荘村さんの前では絶対ギターは持ちません。  
荘村さんは「弾けばいいじゃない」と仰るのですが「それなら荘村さん歌ってよ？」と返しています。

莊村さんは「絶対嫌だ」と拒否するのですが、情報によるとどうやらさだまさしさんとの共演で「案山子」を歌ったらしいのです。

莊村さんが歌で私がギターの曲も死ぬまでに一度やってみたいですね（笑）

—— そしてラテンの歌ですか。

錦織) 最後はカンツォーネやラテンのメロディで楽しく締めます。

このあたりはバラエティーという感じですかね。

—— 選曲は大変ですか？

錦織) オーケストラとの曲を出すよりはハードルは低いです。

オーケストラではスコアや編成上の制約があったうえで指揮者の了解も必要ですが、2人でというのは友達感覚で決めたりして結構臨機応変に出来ます。

新潟に行った時、山田耕作の「砂山」がご当地ソングのように愛唱されていることを知りました。

本番直前だったのですが「今日砂山を歌いたいんですが」と話したら莊村さんは「歌詞とコードがわかれば弾けますよ」と。

そこでポップスのソングブックみたいに歌詞の上にコードネームを書いた紙をわたしたら、ぶっつけ本番でとっても素敵に弾いて下さいました。

まァプロのギタリストにそんな譜面渡したらいけませんよね（笑）

—— 莊村さんとはよく共演されているそうですね。

錦織) はい、結構やっています。

仲良しなんで。

—— 先日莊村さんからお話を伺いましたが、錦織さんとは久しぶりの共演だとか。

錦織) そうですね。

2018年の12月に共演して以来になりますから少し空きました。

—— 莊村さん、錦織さんからの連絡がなくて寂しかったと仰ってました。

錦織) それはこっちのセリフです（笑）

まァコロナもあったし、なんとなくご無沙汰になっちゃうことって誰でもありますよね。

—— 莊村さんとはいつ頃から？

錦織) 実は莊村さんのことは上京する前の高校生の時から知っていました。

NHK のギター講座の講師で日本人離れした容姿と華麗な演奏にシビれてたんです。

その後私はオペラ歌手としてデビューし、ある日ファリャ作曲のオペラ「はかなき人生」のリハーサルに出向いたところ、そこに莊村さんが現れたんです！

スペインから来た民謡歌手と共に登場するギタリスト役でした。

歓喜して一緒に写真を撮ってもらったことを憶えています。

その時からなので30年以上の長い知り合い歴なんですよ。

—— 憧れていた方とデュオ・リサイタルをするなんて凄いことですね。

錦織) こんなこともあるんですね。

子供の頃テレビで観ていた人とお仕事するなんて驚きです。

「いやー、莊村清志ってホントにいたんだ」って変な感慨がありました（笑）

森進一さんとお仕事した時も似たような状態でしたね。

—— 共演するにあたり莊村さんだからこそその楽しみはありますか？

錦織) 僕はバンド出身で我流でギターも弾くので、莊村さんとのギター談議が大好きです。

ギターのお店を紹介してもらったこともありますし、ギターの弦を頂いたこともあります。

もちろん使わずに飾ってあります（笑）

ギターは繊細な音なので、ホールの音響はかなりシビアな問題となります。

人によってはナーバスになったりするところですが莊村さんはおおらかでカリカリしてるところは見たことないですね。

許容範囲が広い人なんですよ。

あと莊村さんは茶目っ気があって、おふざけをお願いしてもいいノリでやってくれます。

以前私も髪をチョンマゲにしていた時にコンサート冒頭「けんでーす」「きよしでーす」「2人合わせてチョンマゲーズでーす」という挨拶を提案したら見事に見事にしてくれましたね。

僕ももう62歳で数少ない年上の共演者、大先輩なのに友だちみたいな感覚です。

—— 錦織さんの中で大和の思い出はありますか？

錦織) 大和はシリウスのオープニングでお世話になった以来となります。

その時はハーブとの共演で今回はギター、また違った感じで楽しんで頂けると思います。

実は僕は大学を卒業して二期会デビューくらいまで町田に住んでいました。

そう、小田急族です（笑）

小田急沿線ブックオフめぐりでは掘り出しモノをたくさん見つけています。

—— ブックオフはよく行かれるんですか？

錦織) ブックオフには知らない本や DVD との出会いがあるので、とりあえず行ってウロウロするのが好きです。

中古のゲームソフトには「強者どもが夢の跡」というか激戦の香りが残っていてロマンを感じます。

池袋ブックオフは巨大複数階で素晴らしいですし町田のブックオフも複数階で特に DVD が充実していて素晴らしい！

川崎は服も楽器も何でもあるし。

とにかく休日には東京、神奈川はもちろん千葉、埼玉も出かけます。

—— ブックオフには錦織さんが出没する確率が高いんですね。

ところでコロナ中の活動はいかがでしたか？

錦織) 中止や延期が多かったことに関しては辛い時期でした。

ただ僕は引きこもりインドア派で発声練習が趣味なので自宅待機や人に会わないのは大歓迎、思う存分練習やゲームが出来てことのほか楽しく過ごしていました。

—— 最後にご来場の皆様にメッセージをお願いします。

錦織) ダンディな 2 人 (笑) による息もぴったりなギターと歌をお楽しみ下さい。

大和のホールに相応しい内容を用意して伺います。